慶應志木会会報

慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2024 vol.44

第8回志木会大会、慶應義塾志木高等学校75年記念式典実施

100年記念に向けて若い世代への架け橋、新体制発足





Artwork ©Enrico Isamu Oyama / EIOS, Photo ©Shu Nakagawa







目次

慶應義塾志木高等学校75年記念式典レポート
多目的棟「光彩館」紹介

志木会の活動はいつも多彩、そして若い世代へ
・新会長、役員挨拶
・開設75年事業募金報告
・第8回志木会大会開催レポート
・枇杷の会、歩こう会よりお知らせ
・同期会& OB 会だより
・ホームカミングデー　ほか

母校の「今」がわかります
・體育部會、文化部会 NOW/クラブ戦績
・志木高・志木会行事日程　ほか

収支報告、役員・幹事・クラブ幹事一覧

新会長ご挨拶



慶應志木会会長
小坂 孝樹

昨年 11 月 18 日 恵比寿ザ・ガーデンホールでの志木会大会にて坂上前会長より後任会長としてご紹介頂きました 30 期小坂孝樹です。2024 年 4 月 1 日をもちまして慶應志木会第 6 代会長に就任致しました。

我らが母校、慶應義塾志木高等学校のホームページに掲載されている歴史を見ると 1858 年福澤諭吉、蘭学塾を創始　10 年後に「慶應義塾」と命名　松永安左ヱ門氏寄贈の東邦産業研究所敷地・施設、慶應義塾への受け入れ決定　1948 年 5 月に開校（1 学年定員 100 名）したのが、本校の前身である慶應義塾農業高等学校です とあります。その後普通高校として慶應義塾志木高等学校に改組し昨年 75 周年を迎えました。開設 75 年事業募金は皆様のお陰をもちまして目標金額である 2 億 9,000 万円を越える寄付が集まり、多目的ホール（光彩館）が落成されました。3 月 9 日には伊藤塾長はじめ来賓、関係者が集まり志木高 75 年記念式典が行われ、9 月 1 日に銘板披露会が開催されます。

慶應志木会は 1988 年第 1 期生である櫻井先輩、龍野先輩等各位のご尽力により誕生し、36 年経った現在 17,000 名の会員を有する大きな組織となりました。私は翌年の 1989 年から 2013 年までアメリカで過ごしたため、志木会の活動には殆ど携わることはありませんでした。先日（4 月 6 日）志木高校の入学式にて、保護者向けに挨拶をしました。これが会長就任後の初仕事です。3 年後の卒業時に自動的に志木会（77 期）に入会すること。その時に永年会費として 3 万円の会費を納めて頂くことの案内と共に、志木高校での生活、志木会の説明をしました。今年の新入生 247 名。その中で中等部からは 12 名、普通部からは 1 名志木高校に進学しています。

志木会の会則第 1 条（名称）本会は「慶應志木会」と称する。会則第 2 条（目的）には本会は会員相互の発展向上と親睦をはかり、併せて慶應義塾志木高等学校の発展に寄与することを目的とすると記されています。ノブレス・オブリージュの精神のもと 2029 年（新執行部の任期）を超えて発展し続ける、会員にとって魅力的かつ有意義な「志木会」の礎を創ることを任期中の目標とします。これから 5 年間の任期、会員諸氏の交流促進、我らが母校、慶應義塾志木高等学校の発展支援の為、尽力させて頂く所存です。

最後になりましたが、坂上前会長、執行部・事務局の皆様のご活躍に敬意と感謝を申し上げます。また、会員各位からのご支援ご協力のお願いを申し上げ、就任のご挨拶とさせて頂きます。

2024 年 6 月吉日

名誉会長ご挨拶



慶應義塾志木高等学校校長
慶應志木会名誉会長
髙橋 美樹

志木会の皆様には、長年にわたり、奨学金、国際交流、志木会賞、また2021年4月からは「慶應義塾志木高等学校　開設75年事業」へのご協力等、様々な形で多大なご支援いただき、ありがとうございます。慶應義塾志木高等学校を代表して、心より御礼申し上げます。

「慶應義塾志木高等学校　開設75年事業」については、おかげさまで、本年3月末で、無事、募金を終えることができました。3年間で2億9000万円という募金目標額は、先行して行われた他の一貫教育校の経験や新型コロナ禍の影響等を踏まえると、達成できるか少々心配でした。ただ、終わってみれば、募金委員会のたいへんなご尽力により、2,436名（内大口寄付者366名）から3億364万6100円の募金を賜り、目標額を超えることができました。皆さまのご協力に、改めて、深く御礼申し上げます。また、志木会の結束力を誇りに思います（第8回志木会大会後、12月からの追い込みも大きかったと聞きます）。本年9月1日には顕彰銘板お披露目会が予定されていますので、ご案内が届いている皆様は是非ご参加下さい。

開設75年事業のひとつの柱と位置づけられる「多目的棟」は、校内で公募された名称の中から「光彩館」と名付けられました。「光彩」は音読みで「交際」に通じ、光彩の英訳“bright”には「光輝」（「若き血」の歌詞にある言葉です。）や聡明の意味があります。本年2月22日には竣工式が行われ、当日の披露式では、伊藤公平塾長の施主挨拶や山内慶太常任理事の担当理事挨拶に加え、志木会関係者から、坂上隆彦会長と、壁画をご寄贈いただいた大山エンリコイサム氏（53期）に、披露式にふさわしい、素晴らしいご挨拶をいただきました。

「光彩館」に描かれた大山氏の壁画も、開設75年事業を機に定められた「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」という指針を踏まえたものになっています。大山氏には昨年の第135回「志木演説会」でもご講演いただきました。「好きなこととか得意なこと、自分が生来持っているものとか、人生の中で出会ったこと、そういう属性が有機的に組み合わさって1つの自分のパーソナリティー、他の人ではない自分らしさとなる」。そして、それが「今のような変化が多い時代の中で、その人が活躍し、自分らしく生きていくための、何か強みになる」――光彩館の壁画からも、同様のメッセージを感じることができます。まだご覧になっていない方は、是非、機会をとらえて、独創的な壁画をご覧下さい。

その後、3月9日（土）には「慶應義塾志木高等学校75年記念式典」（記念式典および記念植樹）が行われました。詳細については『三田評論』（2024年5月号）掲載の、森岡主事による「慶應義塾志木高等学校七五年記念式典をむかえて」をご覧下さい（Web閲覧可）。

これからは、新しい舞台として光彩館を加え、「多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育」を実践して参りますので、引き続き、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

本年3月24日（日）、山内慶太・常任理事ご臨席のもと行われた第74回卒業式では、森田榮一会長代理（23期）に加え、卒業後40年（32期と33期）の皆さまをお迎えして、生徒235名の卒業を祝すことができました。当日は、志木会よりの寄付を代表して33期生から、慶應志木会賞については、7団体・21名の生徒を表彰していただきました。

4月6日（土）には、伊藤公平・塾長ご臨席のもと入学式が行われ、247名の新入生（77期生）を迎えました。未来の志木会会員の成長を暖かく見守っていただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

副会長ご挨拶



副会長 **深川 和己**

この度、慶應志木会副会長を拝命しました深川和己（30 期）です。先輩たちが築いてくださったこの志木会は、私たちが志木高生だった頃の楽しい思い出や、多くの出会いに感謝することができる素晴らしい集まりです。

本年度から新体制となります。小坂新会長をお支えして、志木会の伝統を守りながらも、新しい取り組みにチャレンジして、さらなる活性化と発展に微力を尽くしたいと思っております。みなさま、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



副会長 **宇野 宏**

慶應志木会の副会長に就任することになりました 35 期の宇野宏です。

わずか 3 年間でしたが素晴らしい恩師、先輩、同期、後輩に囲まれた志木高時代は思い出深く、私の基礎を築いてくれました。志木高に少しでも恩返しができればと思い慶應志木会事務局として 3 代の会長の下、温かく熱い先輩方と一緒にお手伝いをして参りました。小坂会長の新体制でも会員の皆様が楽しく旧交を温められる機会を作ること、母校である志木高の発展と現役の後輩の活躍をサポートすること、に加えサスティナブルな運営を心掛けてまいりますので、引き続き皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事長ご挨拶



幹事長 **佐藤 正人**

2024 年度より幹事長を拝命しました 30 期の佐藤正人です。

昨年 11 月に行われた 5 年に一度の志木会大会には、およそ 550 人の卒業生が集いました。これは卒年ごとに任命されている年度幹事の「同期への声がけ」が少なからず貢献しています。当日の会場には、同期を見つけたときのうれしそうな顔と笑い声があふれていました。やはり同期の友は何年経ってもあの頃のまま、かけがえのない仲間なのです。

これから 5 年間、各学年幹事の皆さんと一緒に「いつでもあの頃に戻れるタイムマシン」のような志木会を、もっと身近に、もっと楽しんでもらえるよう、努めてまいります。

開設75年事業募金の報告

開設 75 年事業募金委員長からの御礼



伊藤 雅俊

16 期、前味の素会長、
前日本スポーツ協会会長

2021年5月に募金を開始した当時はまさにコロナ禍で、オンライン幹事総会でのキックオフとなりました。募金対象となる新棟「多目的棟」もまだ詳細は決まっておらず、目標２億９千万円が集まるか否か不安な立ち上がりでした。しかし、志木会始まって以来の母校の大事業への貢献に、志木会会員の皆様が一致する手応えだけが頼りでした。

コロナ禍で集まる機会も限られるなか、各期同期への呼びかけ、各クラブの多世代にわたる呼びかけ、そして母校への深い思いを持つ方の過分なるご支援、いくつもの気持ちが重ね重なり、３年弱の期間で目標を超える３億円の寄付が集まりました。あらためて志木会会員の絆を垣間見たようです。志木会会員の皆様に心より皆様に感謝申し上げます。素晴らしい経験をさせていただきました。

完成した多目的棟「光彩館」は、先生方の長年の教育的希望を満たす素晴らしい施設として完成しました。これから何十年にわたり志木高の特徴ある教育を支えてくれると確信できる施設です。このような意義ある施設の設置に、我々志木会会員が貢献できたことは、永く志木高の歴史に輝くことになるでしょう。その点、我々も誇らしい気持ちを持ってよいのだろうと思います。

今回、私が志木会に推薦されまして、募金委員会の委員長を拝命しましたが、実際の活動を推進した皆様を労いたいと存じます。坂上隆彦前志木会会長はじめ役員の皆様、髙橋美樹校長はじめ志木高の皆様、建設や募金の実務を担っていただいた塾関係者の皆様、そして何より各期をまとめてくださった学年幹事や各クラブをまとめてくださった世話役の皆様、本当にご苦労様でした。

坂上前会長からの御礼



坂上 隆彦

23 期　志木会前会長

募金活動終了にあたり一言ご挨拶申し上げます。

振り返りますと、始まるときにはどうなる事やら、どうすれば２億９千万円集金できるのか、何一つわからぬ暗中模索の状態の中におりました。頼りは会員諸氏の慶應義塾志木高校への思い入れだけと言う状況でのスタートであったかと思います。しかしその素直さがかえって良かったのかなとも思う次第でもあります。

志木高入学時の皆さんのお気持ちを思い起こしてみてください。初めて付けるペンのマークに誇りを感じ、電車に乗っても誰かに見られているようで少し恥ずかしいような誇らしいような気持ちになったことでしょう。さらに夫々の出身中学校では１番、２番を占めていたメンバーが皆同じレベルの連中であることの驚きと喜び、志木高に入って本当に良かったと思ったことでしょう。

それが中学教育の一貫校より始まる他の一貫校と異なる志木高の良さの一つだと思う次第であり志木高卒業生ならではの蒼く甘酸っぱい青春時代の思い出を持ち続けているところだと会員各位ならばご理解いただけるはず、と推察しております。

よって、そのようなお気持ちを持ち続けて頂けている卒業生各位に素直にお願いすることが今回の募金活動の基点とするべきであると判断致しました。結果は皆さんすでにご存知の通り、目標金額、２億９千万円を大きく超す３億円以上に、それも足りそうにないと追加のお願いをした最後の数か月で大きく伸ばしました。皆さんの慶應義塾志木高校への思い、良くわかりました。

やはり推察した通りの皆様の思い入れであったかと、会員各位に証明して頂いたものと思います。

本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げ、皆様のご健康と益々のご繁栄を祈念し最後の挨拶にさせていただきます。重ねてありがとうございました。

早々

開設75年事業

開設75年事業　募金委員会

開設75年事業募金の最終結果を、会員の皆様に報告いたします。

右ページの通り、2,436名から303,646,100円のご寄付を賜り、2億9千万円の目標を見事に達成し、３月末で募金を終了しました。2021年5月から約3年間、誠にありがとうございました。

一貫校の周年募金で目標額を達成することはあまり有りませんので、志木会として誇らしい限りです。社会人となっているすべての学年から寄付を賜りました。本当に凄いことだと思います。

また、毎年何回も寄付して下さった方、団体募金（14期&14団体、各期の団体募金金額は各期の実績に入っています）の世話役をしていただいた方、大口の寄付を頂いた方、志木高への想いの深さに感動しています。志木高で過ごした3年間を大切に思われている方がとても多いと感じました。

皆様のお気持ちで出来た多目的棟「光彩館」、機会があればぜひ母校を訪問し見てください。

■顕彰銘板について

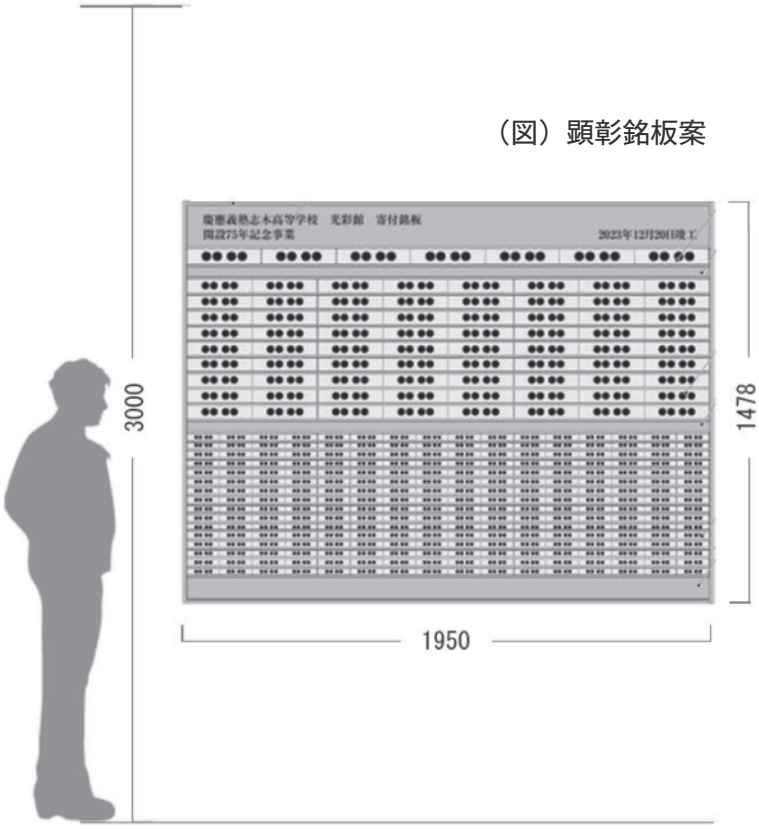
30万円以上の大口寄付者の方を対象に、光彩館に設置される顕彰銘板へご芳名を掲載します。

顕彰銘板は、何十年にわたり何十万人の後世の人の目に触れるもので、右図の様な立派なものです。

掲載は、1000万円以上が7件、100万円以上が67件、30万円以上が256件となります。

8月には完成し、9月1日に対象者に披露されます。

（図）顕彰銘板案



募金のご報告

2024.4.30時点

寄付人数合計2,436名　募金金額合計￥303,646,100　（内大口寄付者366名／￥246,600,000）

	累計		（内 大口寄付者）	
志木高OB(期)	寄付人数	寄付金額	人数	金額
1期	4	1,130,000	1	1,000,000
2期	3	1,010,000	2	1,000,000
3期	1	100,000	0	0
4期	14	450,000	0	0
5期	5	150,000	0	0
6期	5	265,000	0	0
7期	9	540,000	1	300,000
8期	12	930,000	2	600,000
9期	16	1,990,000	3	1,600,000
10期	27	21,810,000	8	21,400,000
11期	78	4,980,000	6	2,900,000
12期	47	2,970,000	4	1,400,000
13期	41	3,952,000	6	3,000,000
14期	29	6,100,000	7	5,300,000
15期	67	17,930,000	15	16,030,000
16期	39	5,310,000	8	4,200,000
17期	51	5,573,000	9	4,400,000
18期	39	5,280,000	8	4,400,000
19期	39	2,895,000	6	1,900,000
20期	77	9,595,000	13	7,700,000
21期	100	3,963,000	3	1,100,000
22期	42	13,660,000	5	11,950,000
23期	168	45,710,000	34	43,100,000
24期	59	6,965,000	16	5,500,000
25期	43	3,685,000	9	2,700,000
26期	40	2,480,000	2	1,300,000
27期	31	3,120,000	6	2,200,000
28期	83	4,795,000	7	2,800,000
29期	98	4,805,000	9	3,400,000
30期	162	5,711,100	9	3,130,000
31期	30	4,560,000	8	4,000,000
32期	25	4,070,000	8	3,600,000
33期	37	3,750,000	5	2,900,000
34期	52	3,355,000	6	2,350,000
35期	89	7,040,000	15	4,750,000
36期	93	4,380,000	6	2,510,000
37期	101	4,690,000	8	3,110,000
38期	21	2,190,000	4	1,600,000
39期	17	1,460,000	1	1,000,000
40期	36	1,680,000	3	900,000

	累計		（内 大口寄付者）	
志木高OB(期)	寄付人数	寄付金額	人数	金額
41期	13	900,000	2	600,000
42期	15	2,790,000	2	2,300,000
43期	21	3,380,000	7	2,800,000
44期	35	1,640,000	1	300,000
45期	26	2,370,000	5	1,560,000
46期	20	2,900,000	8	2,400,000
47期	27	620,000	0	0
48期	5	1,370,000	2	1,300,000
49期	12	1,942,000	3	1,600,000
50期	8	280,000	0	0
51期	5	420,000	1	300,000
52期	10	1,690,000	4	1,600,000
53期	7	2,970,000	4	2,900,000
54期	20	390,000	1	300,000
55期	2	20,000	0	0
56期	6	450,000	1	300,000
57期	8	200,000	0	0
58期	4	100,000	0	0
59期	6	520,000	1	340,000
60期	13	930,000	2	600,000
61期	10	470,000	1	300,000
62期	4	410,000	1	300,000
63期	3	110,000	0	0
64期	7	440,000	1	300,000
65期	6	110,000	0	0
66期	3	310,000	1	300,000
67期	6	670,000	2	600,000
68期	5	470,000	1	300,000
69期	1	10,000	0	0
70期	4	390,000	1	300,000
71期	4	390,000	1	300,000
72期	3	50,000	0	0
73期	0	0	0	0
74期	0	0	0	0
塾員	4	2,070,000	1	2,000,000
保護者	86	6,160,000	9	3,300,000
一般	11	790,000	1	300,000
一般（卒業生家族）	16	1,455,000	4	1,200,000
教職員	37	4,270,000	7	2,900,000
法人	14	10,630,000	12	10,500,000
団体(卒年以外)	19	23,530,000	16	23,470,000

志木高75年記念

2024年3月9日、旧音楽室跡地に新しく建った　光彩館　にて志木高75年記念式典が執り行われました。伊藤公平塾長、山内慶太常任理事(一貫教育校担当)、岩沙弘道評議員会議長、麻生泰連合三田会会長、髙橋美樹志木高校長、坂上隆彦志木会会長の登壇者をはじめ、北川雄光常任理事、岩谷十郎常任理事、池田幸弘常任理事、岡田英史常任理事、土屋大洋常任理事、廣田とし子塾監局長他、宮島司元校長、髙橋郁夫前校長、一貫校各校長が来賓として紹介され、志木高の元教職員、現職歴代PTA会長、志木会学年・クラブ幹事、現役生徒会、合わせて百数十名が当日は参列し厳かな雰囲気の中盛大に開催されました。

式典が始まると志木高ワグネル・ソサィエティー男声合唱団の塾歌演奏を皮切りに、髙橋校長式辞、伊藤塾長・坂上会長からの祝辞を頂戴しました。森岡主事からは光彩館落成報告を受け、現役生徒会が作成した教員や在校生へのインタビュー形式の記念動画が映し出され、教員や在校生のインタビューを通じ過去から現在に渡る志木高を感じた次第です。

閉式後には光彩館玄関前にて植樹式が行われ山内常任理事の挨拶の後、登壇者と夏生徒会長、後藤生徒会副会長によりハナモモの木が植樹されました。



記念植樹式



髙橋志木高校長挨拶



伊藤慶應義塾長挨拶



坂上前志木会会長挨拶

式典報告



Artwork ©Enrico Isamu Oyama / EIOS, Photo ©Shu Nakagawa

開設75年事業を機に『多様な『交際』ですすめる『数理と独立』の教育』を方針にこの光彩館は建設されました。光彩館エントランスホールは、所狭しと外壁まで伸びる志木高53期の大山エンリコイサム君がかく力強く枠にとらわれない壁画が特徴的で志木高のシンボルの1つになると確信いたしました。この光彩館を利用した新しい志木高の教育への期待と支援を今後もよろしくお願いいたします。なお光彩館の慶應志木会会員への利用ルールはまだ決まっておりませんので決まり次第会員の皆様へ連絡いたします。

最後に開設75年事業募金によりこの光彩館は建てられましたが寄付をいただいた志木会会員の皆様に心から感謝申し上げます。

慶應志木会役員会一同



光彩館外観

志木高75年記念

施設



式典会場



ホール

式典報告



壁面

Artwork ©Enrico Isamu Oyama / EIOS, Photo ©Shu Nakagawa



和室



中教室



茶道具水屋用作業台



セミナールーム

第8回志木会大会

2023年11月18日（土）恵比寿ガーデンプレイスにて第８回慶應志木会大会を開催しました。大会の目的は何か、OB会の存在意義は何か、OB会は母校に何をすべきなのか等々、役員会にて企画立案が始まり、志木高開設75年を迎えた今回はホテル形式での飲食や華美な演出を取り止め「志木高100年に向けたパネルディスカッション」をメインイベントとしました。

当日は伊藤公平塾長、山内慶太常任理事、尾上義和SFC中・高部長、菅沼安嬉子前連合三田会会長をはじめ　一貫校同窓会役員、志木現・元教職員を来賓にお迎えし、約500名の会員が集まり盛大に行われました。

総合司会の植草朋樹アナ（34期）の進行にて塾歌斉唱、主催者として坂上会長・髙橋名誉会長（志木高校長）の挨拶、来賓を代表して伊藤塾長よりご祝辞を頂いた後、植草アナより志木高75年の歩み、中島志木高事務長より現在の志木高の生徒構成、森岡志木高主事より少人数教育について説明を頂きました。

パネルディスカッションでは　坂上会長、髙橋校長、志木高現役教員（宮橋教諭、森山教諭、前北教諭、原口教諭、松井教諭）にご登壇頂き、多目的棟、国際交流、クラブ活動、AO入試等、開設100年に向けての取組について討論頂きました。

最後に山内常任理事、菅沼前連三田会長からご講評を頂戴し、志木高の今までとこれからを確認したイベントとなりました。

その後 今年度で任期満了される坂上会長より小坂孝樹次期会長（30期）の紹介があり、應援指導部OBのリードによる若き血の大合唱、最後に上西副会長の閉会の挨拶にて大会の幕を閉じました。

大会中は若干のアルコールとソフトドリンクの提供に留めましたので、大会後の恵比寿の街は志木高関係者の二次会で賑わっておりました。

過去には無い形式の大会でしたが 「今までの大会の中で一番良かった」「OBとして志木高の現状を知ることができ有意義な大会であった」「当同窓会（一貫校内）でも開催したいので是非開催の要領をご教示願いたい」等のお褒めの言葉を頂いた一方「久し振りに同期生と飲食・懇談をしたかったのにこの形式では大会らしくない」「会場の設営方法が不良で後方の話し声が騒々しい」等のご意見も頂戴しました。

次回志木会大会は4年後の2028年に開催されますが 今回の経験を踏まえ より皆様に共感頂ける大会運営を目指してまいります。

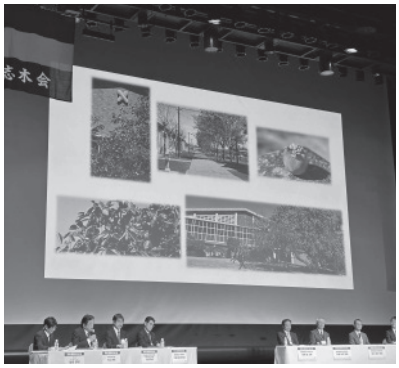
今後とも志木会・志木高へのご支援ご協力の程　よろしくお願い申し上げます。

慶應志木会役員会一同

開催報告



若き血斉唱





シンポジウム開催


司会 テレビ東京アナウンサー・植草氏



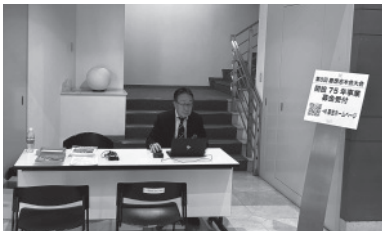
シンポジウム質疑応答



シンポジウム総評


記念撮影コーナー


会場全景


募金受付コーナー


ホワイエで懇親


ドリンクコーナー



塾長より祝花

【志木高・志木会行事日程】

	慶應志木会				志木高等学校	
	R6年度予定		R5年度実績		R6年度予定	
4月			4/30	枇杷の会*2 （横浜公園から大桟橋界隈）	4/6 4/8 4/18	入学式（10：00） ガイダンス 健康診断
5月	5/25 5/26	校内自然観察会*1 枇杷の会*2 （鎌倉宮、永福寺）	5/20	校内自然観察会*1	5/7 ～ 5/9	1年生研修旅行
6月	6/1 6/3 会報発行	5高ＪＫカップ 幹事総会	6/6 会報発行	幹事総会	6/1 6/24 ～ 6/28	早慶戦 第1回定期試験
7月					7/1 ～ 7/3 7/12 7/20 ～	クラスマッチ 第136回志木演説会 夏季休業
8月						
9月	9/1 9/12 9/21 9/29	光彩館銘板披露会 第11回志木マスターズ ：程ヶ谷カントリークラブ 校内自然観察会*1 枇杷の会*2 （慶應志木高校）	9/14 9/16	第10回志木マスターズ ：太平洋クラブ成田コース 校内自然観察会*1	～ 9/7 9/24 ～ 9/27 9/24 ～ 9/27 1年生救命講習	夏季休業 2年生研修旅行 3年生見学旅行
10月	10/20 10/26	連合三田会大会 ホームカミングデー 収穫祭：志木高 （24期＆49期）	10/15 10/28、10/29	連合三田会大会 ホームカミングデー 収穫祭：志木高 （22期＆47期）＆（23期＆48期）	10/10 10/26 ～ 10/27	運動会 収穫祭
11月	11/9 11/15	志木歩こう会 （谷根千散策） 五高同窓会	11/5 11/18 11/26	5高JKカップ 第8回志木会大会 恵比寿ガーデンホール 枇杷の会*2 （大磯・鴫立庵）	11/3 11/18 ～ 11/22 11/26 ～ 11/28	学校説明会 第2回定期試験 クラスマッチ
12月					12/12 12/21 ～	第137回志木演説会 冬季休業
1月					～ 1/7 1/11 ～ 1/16 自己推薦入試	冬季休業 3年生第3回定期試験
2月	幹事新年会		2/26	幹事新年会	一般・帰国生入試 2/18 ～ 2/21	 1,2年生第3回定期試験
3月	3/23	卒業式 卒業40周年招待（34期＆35期）	3/9 3/24	志木高75年記念式典 卒業式 卒業40周年招待（32期＆33期）	3/23	卒業式（10：00）

*1：志木高校内自然観察会は井澤教諭、宮橋教諭（理科）を中心に開催されます（卒業生参加可）

*2：枇杷の会は本井英元教諭（国語）のご指導のもとに開催されます

★行事予定は、変更または中止になる可能性がございます。
都度、ホームページ等でご確認下さい。

志木会会費制度の変更について

ご周知の通り、平成 30 年度より、会費制度を変更いたしました。

従来、「5 年で 1 万円」（年 2,000 円換算）としてまいりました。しかしながら、会費納入率（平成 29 年度実績）は、全卒業生約 15,000 人の約 18％と低く、会費徴収低迷により、志木会活動が決して楽な状況ではありませんでした。将来に向けて志木会の財政を安定させ、継続的に志木高を支援する盤石な体制づくり、さらには OB の繋がりを充実させるため、学校側と話し合いを重ね、次のように変更しております。

【新制度について】68 期より

❶ 卒業時に卒業生全員より「終身会費」として 30,000 円／人を納付いただく。

❷ OB の従来の会費制度を基本、廃止する。

●但し、合計 3 万円を未納の 58 期～ 67 期までの OB は、3 万円迄の残額を徴収する。

皆様のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

慶應志木会奨学基金について

志木高生が、家庭の経済状況の悪化により、勉学を継続できなくなる実状を学校から伺い、基準を設け、学校側で該当する学生を選択いただき支援する体制を構築。「慶應志木会奨学基金」制度として発足しました。これにより、平成 21 年度秋より毎年数名への給費（令和 5 年度までに合計 40 名）が実現できました。皆さまの奨学基金へのご協力を心より感謝しております。

現在、基金額で運用益を確保し、その後も皆様からのご協力をいただいております。長期にわたり給費の安定的な継続と給費対象者・給付費額の拡大を図るために、志木会では、寄付金の募集を継続します。引き続き、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお当基金へのご寄付は、慶應義塾への使途指定寄付金として税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。下記事務局にお問い合わせいただき、所定の申込書にてお手続きをお願いいたします。後日、慶應義塾より領収書並びに所得税・法人税の寄付控除証明書が送付されます。

【 募 金 要 綱 】

募金単位 1口　1万円

払い込み方法 詳細は、慶應志木会事務局にお問い合わせいただき申込書を依頼ください。

TEL：048-471-1959　Mail：info@keio-shikikai.jp

志木高教職員の動向

教員

退職▶専任　鈴木　平 君（社会科）　植田 秦生 君（外国語科/英語）
曽根 弘幸 君（数学科）＊2024.4.1 ～非常勤講師
山田 季孝 君（芸術科/美術）

専任（有期）　村田　文 君（外国語科/英語）
アルヴァレズ アルバート 君（外国語科/英語）　非常勤講師　9名

新任▶専任　内村 朝樹 君（数学科）　中根　唯 君（芸術科/美術）
バン・ブレンデン 君（外国語科/英語）＊塾高より人事交流
新保 直毅 君（外国語科/英語）＊女子高より

専任（有期）　ハービー・スティーブン 君（外国語科/英語）　非常勤講師　9名

職員

退職▶事務員　3名、嘱託職員　1名、派遣職員　3名
新任▶事務員　3名、派遣職員　5名

訃報

齋藤 顕 君（元英語教諭）　後藤 邦吉 君（元体育教諭）　謹んでご冥福をお祈りいたします

『慶應志木会賞』について

慶應志木会

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成１９年３月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の３部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定し、１８回目を迎えました。

令和５年度は、７団体の生徒を表彰いたしました。

1. 水泳部（３名）
推薦者：水泳部部長　樋口　裕輔 教諭（8 年連続受賞）
2023 年度　全国高等学校総合体育大会水泳競技大会　出場

2. 空手部（２名）
推薦者：空手部部長　田中　健 教諭
令和 5 年度　第 52 回関東高等学校空手道大会　団体形　出場

3. 競走部（１名）
推薦者：競走部副部長　大瀧　学 教諭
令和 4・5 年度 学校総合体育大会兼関東高等学校陸上競技対抗選手権大会
男子 800 m、1500 m　関東大会出場　他

4. 端艇部（２名）
推薦者：端艇部部長　　池田　卓也 教諭（12 年連続受賞）
　　端艇部副部長　古川　創一 教諭
令和 4 年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会兼第 70 回全日本高等学校選手権競漕大会　男子舵手付きクォドルプル種目（1000 m）埼玉県代表
準々決勝進出

5. 器楽部（６名）
推薦者：器楽部部長　小池　陽 教諭（2 年連続受賞）
第 29 回西関東吹奏楽コンクール・高等学校 B の部　金賞受賞

6. 電子工学研究会（４名）
推薦者：電子工学研究会部長　三船　豪介 教諭
2024 年 1 月ロボカップジュニア　オンステージ部門埼玉ブロック大会　1 位
2024 年 1 月ロボカップジュニア　埼玉ブロック大会　～プレゼンテーション
　　埼玉県教育長賞　　他

7. ゴルフ部（３名）
推薦者：ゴルフ部部長　前北　馨 教諭
2023 年度関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会　関東大会出場 32 位

以上

體育部會NOW／第24回

庭球部　部長　矢島 佑紀

2022 年度より庭球部の部長を務めています。副部長は、志木高庭球部 OB であり體育會庭球部 OB の新保直毅君です。また、監督は前田信二君です。他にも、體育會から派遣していただいている大学生のコーチだけでなく、本校庭球部 OB の大学生もスタッフとして日頃よりお世話になっています。部員は、現在 2 年生 15 人、1 年生 26 人で活動しています。3 年生 18 人は 5 月に行われた県団体戦で引退となりました。引退してもなお、後輩のために練習に参加してくれる 3 年生が多いことは、嬉しい限りです。

3 年生最後の団体戦は、シード校の早稲田本庄に 1-2 で敗退しました。選手のみならずベンチ、応援、審判の全員が質高く模範的な活躍をし、団体戦としてとても素晴らしいものを残してくれました。一人のテニス人として、一人の人間として、私は彼らのことを誇りに思います。望んでいた結末とはなりませんでしたが、大きな大きな爪痕は残せた、そのように考えています。3 年生にとっては、最高の引退試合になったことでしょう。

普段の活動では、年間を通して他校との練習試合も多く取り入れ、部員のレベルアップを図っています。定期的に行われているものとしては、早稲田大学高等学院の学院祭（文化祭）で行われる招待試合や、春秋の大会前に行われる早稲田実業学校との対抗戦などがあります。また、風が強い中での試合を想定して、春休みには千葉県の白子で合宿を行いました。これは、部員から提案されました。常にアンテナを高くして、どうすれば庭球部が強くなるのか、部員全員で考えて主体的に活動しています。

文化部会NOW／第24回

電子工学研究会　部長　三船 豪介

2023 年度より電子工学研究会の部長に就任いたしました三船です。現在は 3 年生2名、2 年生4名、1 年生3名の計9名で活動しています。

電子工学研究会と聞くと一体何をするクラブなのだろうと思うかもしれませんが、実は自分の好きなことができる自由な部活です。部員の興味を持っているものは様々で、プログラミングをしている人もいれば、作曲をしている人、ロボットを作っている人もいます。月に 1 回集まり、それぞれの活動報告をしています。

昨年度は、3 年生がロボットチーム「燈」を作り、「計算機にしか見えていない世界を可視化する」というテーマで 1 年間活動をしてきました。サイエンスキャッスル 2023 関東大会では口頭発表・ポスター発表優秀賞を受賞しました。そこで製作したロボットを少しずつ改良していき、ロボカップジュニア埼玉ブロック大会では第 1 位で通過、プレゼンテーション埼玉教育長賞も受賞しました。3 月に行われた全国大会に当たるロボカップジュニアジャパンオープン 2024 名古屋では計 14 台のロボットを連携させたパフォーマンスを見事に成功させ、優勝することができました。

今年度は 1 年生を新たに 3 人迎え、先日はそれぞれ自己紹介と研究している内容を報告し合いました。今後は収穫祭へ向けて、それぞれ作品を作っていくことになります。技術的な指導はできませんが、部員たちが活躍できるようにサポートしていければと考えています。

クラブ戦績

クラブ	戦績
體育部會	
硬式 野球部	2023年度選手権埼玉県大会2回戦10-5対川越西、3回戦5-9対市立川越／南部地区新人大会 1回戦2-5対武南／秋季南部地区予選1回戦5-0対大宮広陵、代表決定戦2-12 (5回ｺｰﾙﾄﾞ) 対南陵／ 2024年度春季南部地区予選1回戦25-1 (5回ｺｰﾙﾄﾞ) 対岩槻商業、代表決定戦2-0対大宮東／春季県大会1回戦7-6 (10回ﾀｲﾌﾞﾚｰｸ) 対細田学園、2回戦4-11対川越東
競走部	学校総体埼玉県予選会 男子800m決勝 市村1'59"95　男子1500m決勝 市村3'57"20 北関東大会出場権獲得／国体少年の部 西部地区予選会 男子800m決勝 市村1'57"86　男子1500m決勝 市村3'55"68　滝沢4'22"97 男子3000mSC片岡10'14"69　男子B3000m平井9'56"32 男子5000m金指17'25"62　吉田18'58"25 ／第83回奥多摩渓谷駅伝競走大会Aﾁｰﾑ6位　Bﾁｰﾑ8位
卓球部	R5.5関東大会埼玉県予選会団体戦ﾍﾞｽﾄ32 (上田、小曽戸、中山、林) シングルスﾍﾞｽﾄ64(上田)／ R5.6インターハイ埼玉県予選会団体戦ﾍﾞｽﾄ16(上田、小曽戸、中山、林)、シングルスﾍﾞｽﾄ64 (上田) ／ R5.7岡部杯争奪卓球大会シングルスﾍﾞｽﾄ8 (上田)、ﾍﾞｽﾄ64 (中山、小曽戸、池田) ／ R5.8学年別強化卓球大会出場／ R5.9全日本ジュニア埼玉県予選大会シングルスﾍﾞｽﾄ128 (池田) ／ R5.9西部地区秋季大会団体戦ﾍﾞｽﾄ16、シングルスﾍﾞｽﾄ64 (池田､宇塚)／ R5.11志木市民卓球大会出場／ R5.12埼玉県ジュニア卓球選手権大会シングルス出場、R6.1ダブルス出場／ R6.1新人大会埼玉県西部地区予選会団体戦ﾍﾞｽﾄ8 (池田、新井、大野、三澤、坪井)、シングルスﾍﾞｽﾄ64 (新井、池田)、ダブルスﾍﾞｽﾄ24 (池田、新井) ／ R6.2新人大会埼玉県予選会　団体戦出場／ R6.4関東大会兼全国高校総体埼玉県西部地区予選会団体戦ﾍﾞｽﾄ16 (池田、新井、大野、三澤)
庭球部	全国高校総体埼玉県予選団体ﾍﾞｽﾄ16 (廣幡-庄司-菅-板垣-竹内) 一回戦対県立川越高校3-0 二回戦対開智未来高校2-0 三回戦対浦和麗明高校0-2 ／テニス新人戦埼玉県大会 個人シングルス一回戦 菅、庄司、名古路、林　ダブルス一回戦　菅-庄司　団体ﾍﾞｽﾄ16　一回戦対川越南高校4-1 二回戦対川越東高校1-4
ラグビー部	新人戦埼玉県大会1回戦47-28対伊奈学園 2回戦12-24対昌平 順位戦26-17対熊谷工業 順位戦5-10対浦和／関東高校ラグビー大会埼玉県予選1回戦105-0対合同B 予選2回戦42-0対西武台 予選準々決勝21-19対本庄第一 予選準決勝14-41対昌平 予選3位決定戦22-15対深谷／関東高校ラグビー大会17-40対法政大学第二、17-7対東海大浦安／全国大会予選60-0対正智深谷 予選準々決勝21-12対本庄第一 予選準決勝14-24対昌平
端艇部	早慶ﾚｶﾞｯﾀ　高校舵手付きｸｫﾞﾙﾌﾟﾙB (吉澤、佐藤、加藤、磯村、中村) 優勝／戸田ﾚｶﾞｯﾀ 1XA (吉田) 5位／インターハイ県予選1XA (吉田) 2位、2XA (渡辺、磯村) 3位 4X+A (高﨑、佐藤、加藤、飯牟礼、井上) 2位／県新人戦1XA (増田) 2位 4X+A (吉澤、吉田、林、渡邉、中村) 2位／関東高等学校選抜ﾎｰﾄ大会4X+ (吉澤、吉田、林、渡邉、中村) 2位／全国高等学校選抜ﾎｰﾄ大会4X+ (吉澤、吉田、林、渡邉、中村) 10位／お花見ﾚｶﾞｯﾀ (高校の部) 1X (中村) 2位
バレー ボール部	総体西部支部予選　対立教新座2-0　対西武台2-1 ／総体埼玉県予選対鷲宮0-2 ／六校戦　対明大明治0-2　対法政2-0　対慶應義塾高校0-2　対日大0-2　対立教新座2-0　対慶應湘南藤沢1-2 ／選手権大会埼玉県西部支部予選会　対西武台2-1　対所沢北0-2　対和光高校2-1 対豊岡高校1-2
ホッケー部	2024年1月8日東京都ﾎｯｹｰ協会主催少年男子女子大会「慶應義塾志木高校・栃木県立鹿沼東高校・学習院高等科合同チーム」として出場　対学習院0-6、対早稲田高等学院B　0-1、対学習院 (2戦目) 0-6、対早稲田高等学院B (2戦目) 0-0
サッカー部	西部支部総体予選2回戦対入間向陽2-0 ／選手権1次予選 1回戦対栄北6-1　2回戦対大宮北3-2　代表決定戦対三郷北1-0 ／選手権決勝ﾄｰﾅﾒﾝﾄ 1回戦対本庄第一0-9

クラブ	戦績
バスケット ボール部	学校総合体育大会兼全国高等学校選手権大会埼玉県1次予選89-49対星野高校　58-68対所沢西高校 3回戦敗退／夏季支部ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ選手権大会　88-57対富士見高校　67-61対山村学園高校　76-88対埼玉平成高校　西部支部ﾍﾞｽﾄ8 ／高等学校ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ新人大会支部予選　97-46対城西大川越高校　106-46対所沢中央高校　79-91対埼玉平成高校　西部支部ﾍﾞｽﾄ8
弓術部	全国高校総体団体 久保/畠山/村髙/原/油井　20/40二次予選敗退／関東個人選抜県予選Aﾁｰﾑ久保1/4一次予選敗退 原7/8決勝進出 油井6/8決勝進出　Bﾁｰﾑ増田2/8二次予選敗退 琵琶坂3/8二次予選敗退 石田1/4一次予選敗退 個人決勝 (射詰) 原○○×6位入賞 (関東個人選抜大会出場) 油井×敗退／関東個人選抜大会 個人予選 原7/8決勝進出 個人決勝 (射詰) 原×敗退
ゴルフ部	2023年度関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会埼玉地区予選男子団体の部 高木-荒井-森-田中5位／関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会男子団体の部 高木-森-犬伏32位
剣道部	西部支部大会団体2回戦対川越東1-3 個人:竹内ﾍﾞｽﾄ32、表2回戦敗退、中山2回戦敗退／関東予選県団体1回戦対鳩ケ谷1 (1) -1 (2) ／全国高校総合体育大会個人 田中ﾍﾞｽﾄ16、竹内3回戦敗退 団体:1回戦対上尾鷹の台4-0、2回戦対市立浦和5-0、3回戦対東農大三1-4 ／玉竜旗大会5人制抜き勝負対尚志館 負／五大学付属高校剣道大会4位 対法政二高6-1、対慶應義塾0-5、対明大中野1-3 ／第14回早慶対抗剣道大会 対早大本庄5-0 ／さいの国高校剣道大会 予選ﾘｰｸﾞ対寄居城北2 (4) -2 (3)、対桐生1-3 ／西部支部新人戦ﾍﾞｽﾄ8 1回戦対入間向陽4-0、2回戦対所沢西4-1、3回戦対山村学園0-5 ／埼玉県高校剣道新人大会1回戦入間向陽5-0、2回戦対杉戸2-3 ／関東私立高校選抜剣道大会1回戦対専修松戸0-3
スキー部	ｲﾝﾀｰﾊｲ予選GS:齋藤13位、北山9位、髙橋DS、羽生田20位 SL:齋藤9位、北山10位、髙橋DQ、羽生田19位　団体予選:北山8位、髙橋DF ／関東大会GS:齋藤DF、北山59位、羽生田102位　SL:齋藤76位、北山DF、羽生田70位／新人戦GS北山3位、髙橋7位、羽生田12位　SL:北山5位、髙橋8位、羽生田DF
ソフト テニス部	R5年度関東高等学校体育大会ｿﾌﾄﾃﾆｽ競技埼玉県予選会 個人戦の部 中村-渡邉ﾍﾟｱ　県ﾍﾞｽﾄ64 竹内-五十嵐ﾍﾟｱ 県大会出場　団体戦の部 県ﾍﾞｽﾄ4 ／ R5年度学校総合体育大会兼全国高校総体埼玉県予選会 個人戦の部 中村-渡邉ﾍﾟｱ 県ﾍﾞｽﾄ64 ／第51回東京六大学附属系高等学校ｿﾌﾄﾃﾆｽ大会 個人戦の部 中村-渡邉ﾍﾟｱ ﾍﾞｽﾄ32　竹内-五十嵐ﾍﾟｱ ﾍﾞｽﾄ32 長谷川-小松﨑ﾍﾟｱ ﾍﾞｽﾄ32
水泳部	埼玉県学校総合体育大会 男子総合第8位、50m自由形 永瀬6位、100m自由形 永瀬5位、100m平泳ぎ 亀井3位、200m平泳ぎ 亀井6位、200m自由形 井上4位、400m自由形 井上6位、200m背泳ぎ 田中8位、400mﾒﾄﾞﾚｰﾘﾚｰ田中-亀井-井上-永瀬 6位、400mﾘﾚｰ永瀬-亀井-田中-井上 8位／埼玉県西部支部水泳競技大会 男子総合 優勝
軟式 野球部	全国高等学校軟式野球選手権埼玉県予選2回戦 対浦和南3-0　準決勝対正智深谷1-4 ／秋季関東大会埼玉県予選2回戦0-10伊奈学園
空手部	関東高等学校空手道大会埼玉県予選会 団体形4位 関東大会出場権獲得／第52回関東高等学校空手道大会 団体形初戦敗退
文化部会	
器楽部	第64回吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ地区大会 金賞受賞、県大会 金賞受賞、西関東大会 金賞受賞
電子工学 研究会	技育展2023関東①ﾌﾞﾛｯｸ 決勝進出／技育展2023決勝大会 予選敗退／ｻｲｴﾝｽｷｬｯｽﾙ2023口頭発表-ﾎﾟｽﾀｰ発表 優秀賞／ THKものづくり0.賞 成果報告会 優秀賞／ロボカップジュニア　オンステージ部門 北埼玉ノード大会1位、埼玉ブロック大会1位、埼玉ブロック大会～プレゼンテーション 埼玉県教育長賞、ジャパンオープン2024名古屋1位、プレゼンテーション賞

志木会の俳句会「枇杷の会」で友達の輪を広げませんか!



最近はTV番組を始めSNSの影響で、若い方から多くの世代で俳句や短歌が身近になっています。 また、来日観光客にも観光地だけではなく、日本の自然や生活に興味をもつ人が増えています。

俳句の良さは、季語を中心として感動した景色や心象を十七文字に詠んで、作品として残せること、そして、仲間と一緒にその感動を分かち合えることだと思います。

枇杷の会では普段はなかなか行く機会のない場所で年2回吟行しており、同窓会の輪が広がって年々参加者が増えてきています。

平成14年6月から長年ご指導をいただいている本井英元教諭は高濱虚子研究の第一人者で、大磯の鴫立庵の庵主もされていらっしゃいます。風薫る五月、鎌倉で吟行を行いました。

句会の後は軽く一杯を楽しみながら、友人の消息や昔話などを語り合い、世代を超えた仲間作りが出来ます。志木高に入って本当に良かったと思える絶好の機会です。

初心者の方にも参加していただける、ゆったりとした雰囲気の集まりですので、これを機にぜひ句会に参加してみませんか。

今年度は次のように予定しています。志木会会員各位やご家族のご参加をお待ちしています。

- **令和6年5月26日（日）　鎌倉宮、永福寺から鎌倉虚子立子記念館**
- **令和6年9月29日（日）　志木高等学校（75年記念事業成就の光彩館見学）**

詳細はメールマガジンで案内いたします。参加のお申し込みは志木会事務局まで。

昨年11月　第56回枇杷の会　大磯鴫立庵での句会報告
旧島崎藤村邸、明治記念大磯庭園、旧吉田茂邸、こゆるぎの浜、大磯港等を吟行し、同庵に戻り句会を行いました。本井英元教諭からは俳句は心に浮かんだ言葉のままで良い、俳句の上手い人は何気なく作った他人の句を味わえる等、多くの貴重なアドバイスをいただきました。

（参加者の自選句、順不同）

・冬菊や統監道の名の残り	英	・草庵の軒に落葉のつもる頃	かおる
・山茶花白し藤村の愛でし町	洋太	・草庵の蛙見上げる冬の空	誠
・浜小春変哲もなき石拾ひ	次郎	・晩秋を詰めた干菓子を買い得たり	文比古
・散る紅葉短き秋を惜しみつつ	恭輔	・暮早し日々のつとめに追われけり	栄一
・悴める手をひと擦りポケットへ	孝治	・トンネルの額縁に入る冬の海	治虫
・潮鳴りやはるか箱根に山眠る	夏樹	・常若の俳句道場枇杷咲けり	章良
・軒先のミカン百円袋売り	伸次	・新松子供えのありて五智如来	善兵衛

今までの活動は志木会Web siteに掲載しています。
https://www.keio-shikikai.com

湯浅 善衛（31期）

2024　志木歩こう会
“ 谷根千の散策　懐かしい昭和と下町を巡る ”

久しぶりに「志木歩こう会」を下記の通り実施いたします。
志木会会員各位の参加をお待ちしております。ご家族の参加も歓迎です。

開催日時：令和6年11月9日（土）
午前10時～

集合場所：東京メトロ千代田線「根津駅」
午前10時集合

参加申込：10月25日（金）までに、志木会事務局へ連絡
メール info@keio-shikikai.jp
TEL 048-471-1959

費　　用：昼食代　実費4,500円程度
「はん亭」（都の文化財の木造建築）で串揚げを予定

案 内 人：23期　嶋田 廣雅

＊詳細はメールマガジンでもお知らせ致します。

同期会&OB会だより

第15期 ―昭和40年卒―

第43 回亦楽会のご報告と第44 回亦楽会のご案内



令和5年の15期亦楽会は11月16日に久しぶりに三田キャンパスの北館ファカルティクラブで開催することができ、遠く九州熊本、姫路などから泊まりで参加してくれた同期も含め39人、大盛況の亦楽会となりました。應援指導部4年酒井俊輔君の指導の下、塾歌斉唱から始まり、〆はもちろん久しぶりの肩を組んでの若き血でした。例年は立食パーティ形式でしたが喜寿を迎えていることもあり参加者全員が座ることができるテーブルと椅子が用意され、皆さん気の向くままに座る場所を変えゆっくり歓談することができました。

今回のハイライトは何と言っても森田嘉彦君が令和4年秋に出版した「八波むと志と東京喜劇」の出版にまつわる秘話の数々をご披露していただいたことです。森田君は出版とほぼ同じ時期に受けた喉の手術後の発声リハビリ中でしたが、その大変さを感じさせない感動モノのお話しを聞くことができました。

もう一つのハイライトは令和５年度の幹事会から次年度のクラス幹事の選任が困難だったこと、名簿整理が進んだことでメールを使っての案内ができるようになったことなどからクラス幹事制は止め、今年度幹事の高野を代表として三野君、倉田君の３人で2024年、2025年の亦楽会幹事を引き受け、80歳を迎える2026年以降についてはいつまでこの楽しい集いを続けるかなども含め議論をすることなど提案され、参加者の皆さんから賛同を得たことです。



尚、新幹事体制の下、本年は11月12日（火）に三田の「ファカルティクラブ」にて第44回亦楽会の開催を予定しており、「時間学」研究の第一人者千葉大学大学院教授一川誠先生にご講演していただく予定です。15期の方でまだメールアドレスを志木会事務局に登録されていない方は本志木会報に同封されている「登録情報変更の届け出」用紙を使いメールアドレスの登録をお願いします。

文責　15期亦楽会　高野 信一

第22期 ―昭和４７年卒―

同期会報告／二八会を開催いたしました



不順な天候が続き桜の開花宣言が待ち遠しかった3月30日、三田キャンパスには学年末の静かな時間がながれていました。慶應義塾史展示館では、野球部の東京六大学野球リーグ秋季大会優勝の天皇杯並びに明治神宮野球大会の優勝旗、夏の甲子園を沸かせた塾高野球部の甲子園大会優勝旗などが展示されており、多くの参観者で賑わっておりました。

今年は三田キャンパス内の『ファカルティクラブ』にて二八会を開催いたしました。古稀を迎えた時期でもあり参加者は67名と多くの同期の参加をいただき、和気あいあいとした同期会となりました。30名となった物故者に対する黙祷から会は始まり、慶應義塾志木高等学校開設75周年記念式典の報告がありました。

古稀を迎えたせいか初参加の同期が目立つ会でもあり、初参加の同期には前に出てもらい、卒業アルバムの当時の写真をプロジェクターで映し出し、その写真の横で一言話して貰いました。卒業から52年経ち、当時の面影が全く見られない同期、少し面影が残った同期など楽しい挨拶を聞くことができました。二年連続の開催となりましたが、大勢の同期が参加してくれた二八会となりました。ホームカミングデー、志木会大会など行事の多い一年でしたが、海外から参加してくれた同期、日本の各地から参加してくれた同期が沢山いることに感謝いたしております。

今回の二八会の開催にご尽力いただいた幹事の方々に感謝するとともに、参加された同期及び今回お会いできなかった同期の健康と益々の精進を願いつつ、次回は、令和7年3月29日（土）に開催いたします。開催が近づきましたらまたご案内させていただきます。来年もお会いできるのを楽しみにしています。

22期　深澤 澄

第28期 ―昭和53年卒―

2024年6月9日12時より、昨年に続き後楽園飯店にて28期同期会が開催されました。

前回同様、昼食会形式で企画され、31名の仲間が集いました。冒頭、学年幹事伊能重雄氏より、昨年の慶應志木会大会の報告および75周年募金の結果に謝意が述べられ、多目的棟「光彩館」の記念式典の報告も行われました。慶應志木会会長に小坂孝樹氏（30期バスケットボール部で28期孝典氏の実



弟）の就任と長期に副会長を務めた大舘信氏の退任も併せて発表されました。
D組関口勲氏の乾杯のご発声の後、歓談後半には久し振りに参加したメンバーからの近況報告が行われ、締めの若き血まで盛会のうちに時間が過ぎお開きとなりました。
今回出席頂いた方々、残念ながらお会いできなかった方々も、次開催にてお会いできることを楽しみにしております。
今回も開催の準備、取り纏めをされた学年幹事の伊能重雄氏（A組）に御礼申し上げます。
メールアドレス未登録並びに変更にあった方は、今後のイベントのお知らせをお届けするために「info@keio-shikikai.jp(慶應志木会事務局)」宛、ご連絡をお願いします。同期の方の消息をご存じの方、皆様の近況等もお寄せください。

28期D組　池田 欽哉

蹴球部OB会



昨年度、第３シードで臨んだ全国大会予選準決勝、昌平高校戦、前半を14－10で折り返しましたが後半逆転され、惜しくも14－24、3位の結果に終わりました。しかし花園へ行くという気持ちを最後まで持ち続けた素晴らしいチームだったと思います。
この春シーズンは、招待試合で静岡選抜に28－24で勝利、続く同志社香里定期戦においても24－21と勝利し、現在関東大会予選に臨んでいるところです。
楽志会（OB会）は以下の通り蹴球部強化に繋がる支援活動を展開し、成果が出つつあります。

（1） ラグビー経験者の入部者数増加に繋げるべく、近隣有力ラグビースクールへPR冊子配布と練習見学会･学校見学会を実施。また受験・入学希望者にはきめ細かな指導を実施。
（2） 監督・コーチ活動費用、プロコーチ（スキル・フィジカル・メディカル等）費用、近隣都県強豪校との遠征試合・合宿費用　等への財政面の支援。

蹴球部は3年後の2027年、創部70周年を迎えます。その記念すべき2027年度までに悲願である花園初出場を目指します。志木会会員皆様のご支援を何卒宜しくお願い致します。

蹴球部OB会（楽志会）理事長　29期　鳥羽 克治

バスケットボール部OB会

バスケットボール部の2023年度年次報告において、2024年6月に退任予定の矢沢正義監督（1982年卒）に、28年間にも及んだ監督としての歩みを振り返っていただきました。その寄稿内容をダイジェスト版にして皆さまに共有いたします。

志木高バスケットボール部と同じ1963年生まれの私が、昨年、共に還暦を迎えたのを機に、監督退任を決意しました。ご依頼いただいたこの機会に、ご挨拶申し上げます。
1996年､海外転勤となった栗崎前監督の後任として､この重責を担うことになりました｡当時は部にスタッ



フ不在の時代が続いており、佐野先生が就任してまもないこの頃の目標は「目指せ県大会」。自身の学生トレーナー時代、選手にも恵まれて県ベスト8に何度も進出できた経験から、何か役立つ・伝えられるものはないか模索しました。仕事も家庭も多忙な中、月に2回程度の練習参加でしたが、2006年、五十嵐主将の代でインターハイ予選県ベスト4を勝ち取ったときは鳥肌が立つほど身体が震えました。この成果は、佐野先生の10年間の努力の結実であったと言えましょう。

2010年、妻が病に伏したことで、辞任を申し出ました。しかし、当時の江川野火止会長はこれを受け入れず、「休部扱い、戻れるタイミングで戻ってこい」と言って下さいました。2012年春に妻を亡くし、会社を退職後、夏から練習に本格復帰しました。その年、新潟合宿に初帯同、初日から檄を飛ばして声を潰し、熱中症気味となったのも今では良い思い出です。加藤主将はじめ経験に優れたメンバーを擁するチームは、何と県新人大会で下馬評を覆して準優勝、関東新人大会出場を果たし、部の歴史に新たな1ページを加えました。

以降、佐野先生のご家庭の事情もあり、練習には週4~5日、概ね全ての遠征・合宿に参加することとなりました。復帰2年後の2014年に現在勤務する会社に誘われた際、「週2回出社、但し公式戦や合宿は優先するので、都合月8回を毎月相談の上で決定、その条件で良いなら」との強気で米国本社と面接に臨んだことも、今や笑い話です。

記憶に残っているのは勝てた代だけではありません。就任当初から佐野先生と共に「応援されるチーム」になることと、それをより具体化した「チームフィロソフィー」を意識し、意識させてきました。それらの理念・哲学が、どれだけ広く、深く、強く理解・浸透できたか。それが実現できた選手や代は、勝ち負けにかかわらず、私の脳裏に鮮明に残っています。そしてこの成長の到達点こそが、各選手・代の真価だと信じて疑いません。

退任の決意は重かったですが、28年間で320余名の選手と共に歩んだ日々は、私にとってかけがえのない時間でした。チーム育成と共に、私自身も多くを学び、成長することができました。監督としての道のりを共に歩んでくれた皆様に心より感謝申し上げます。そして、後任の五十嵐新監督と選手たちの未来に、変わらぬ支援をお願いします。次代のチームの活躍を心から楽しみにしています。

文責：41期　平賀 敦巳

ホッケー部OB会

ホッケー部は部員不在の状態から2023年度が始まり、新１年生が４名入部したことにより、４名での活動がスタートしました。2023年度中は志木高ＯＢや大学ＯＢ等の参加協力を得て、練習や練習試合を行ってきました。

公式戦に近い形での試合参加としては、2024年1月8日の「東京都ホッケー協会主催少年男子女子大会」（大井ホッケー場）に、「慶應義塾志木高校･栃木県立鹿沼東高校･学習院高等科合同チーム」として出場しました。結果は以下のとおりです。

対学習院 ０－６、対早稲田高等学院Ｂ ０－１、
対学習院（２戦目）０－６、対早稲田高等学院Ｂ（２戦目）０－０

2024年度に入り、４月末時点で新１年生は１名に留まっていますが、引き続き新入部員勧誘に努め、部員確保およびホッケー競技活動の充実を目指してまいります。

ホッケー部監督・36期　神山 健一

不動産金融志木会

第11 回不動産金融志木会開催のご報告



不動産金融志木会は、2010年に加藤一郎太君（23期）、正木条君（29期）、平澤順君（29期）によって立ち上げられた、不動産業・金融業に従事する志木高OB有志による交流会です。

去る4月16日（火）、志木会事務局幹事の天野徳雄君（36期）経営の銘店「銀座長寿庵」にて、第11回交流会を開催いたしました。

どの業界でも同様と思いますが、不動産・金融業では時に「人脈」が非常に大きな役割を果たすことが有ります。競合ひしめくこの業界において、かつて同じ志木の地で学んだ（楽しんだ）同志が再び繋がり、互いに発展を目指せることは、本当に有り難いことと実感しています。（…とは言え、飲んでいる間はただただ楽しく過ごし、仕事の話は皆ほとんど出来ていませんでしたが…笑）

交流会は不定期で開催しています。お問い合わせは、下記までお気軽にご連絡ください。

不動産金融志木会　幹事：関口 太一郎（48期）
sekiguchi@field-bridge.net

第10回志木マスターズ開催報告

第10回志木マスターズが2023年9月14日（木）に太平洋クラブ成田コースで開催されました。

７期の大山隆義さんから73期の三上慶君まで67名（うち女性４名）の方にご参加いただきました。

当日は、残暑厳しい真夏日でしたが、みなさん旧交を温めつつも白熱のプレーが繰り広げられました。

成績の方は37期の井関律君がネット70.2（HDCP16.8）で優勝しました！おめでとうございます。

ベストグロスはなんと69で回った大学体育会ゴルフ部３年生の71期金子拓馬君でした。

金子君は今年のリーグ戦でもレギュラーとして活躍したそうで、頼もしい後輩が志木マスターズに参加してくれたことはとても嬉しいことです。

また、数年振りに開催出来た表彰式は、幹事の27期永井さんの司会で最年長７期の大山隆義さんの乾杯で始まり、現役大学生３名の紹介と挨拶がありました。

みなさまより賞品のご寄付をいただいたことにより、ニアピン・ドラコン、優勝から飛び賞まで、沢山の方に賞品授与が出来ました。

締めのご挨拶を志木会会長の坂上さんにいただいて閉会となりました。

とても和やかかつ賑やかなコンペとなりましたことを幹事としてありがたく思います。

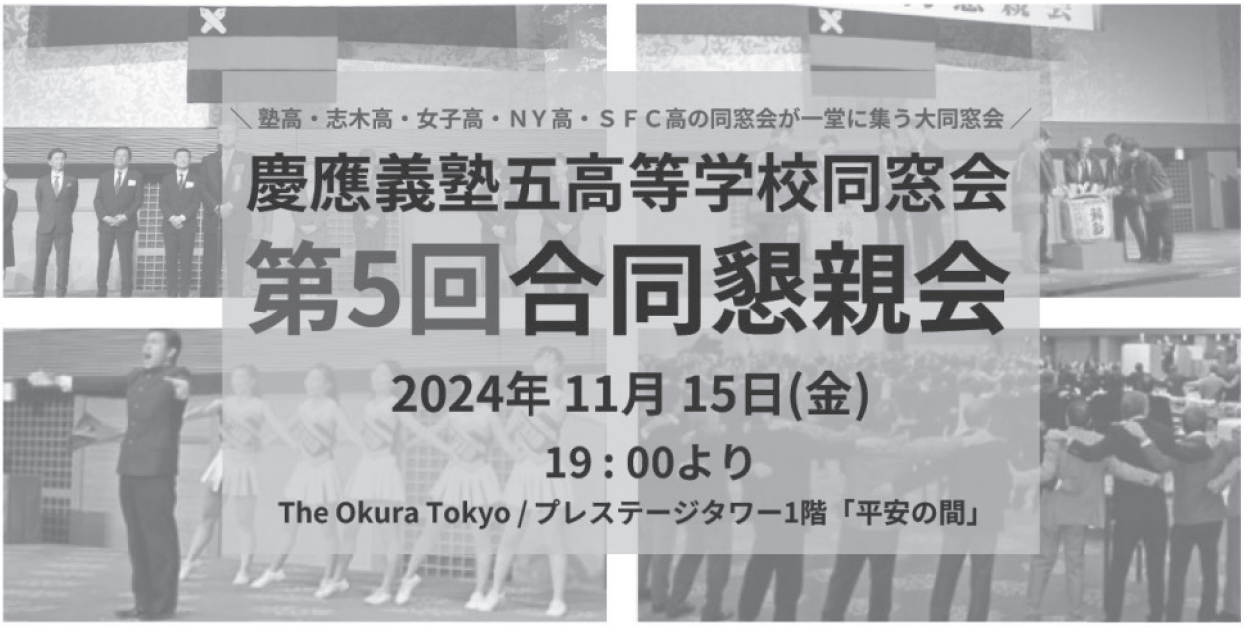
ご参加のみなさま、誠にありがとうございました。

最後に、最年少の73期三上君からのお礼のコメントを紹介させていただきます。

『私は志木高を卒業し、初めての志木OB会に参加だったのですが、30年から65年前の卒業生の方々がとても温かく迎えてくださりました。卒業後も続く志木高の繋がりをゴルフを通じて実感いたしました。皆様のご期待に添えるよう、志木高を代表するゴルファーになれるように頑張ろうと思います。73期三上 慶』

37期　田内 久晴

慶應義塾五高等学校同窓会　開催のお知らせ



＼塾高・志木高・女子高・ＮＹ高・ＳＦＣ高の同窓会が一堂に集う大同窓会／

慶應義塾五高等学校同窓会
第5回合同懇親会

2024年 11月 15日(金)

19：00より

The Okura Tokyo / プレステージタワー1階「平安の間」

第5回となる今回の合同懇親会は、「タテヨコナナメ」をスローガンに、
「同窓**タテ**のつながり」、「同期の**ヨコ**のつながり」そして「五高をまたぐ**ナナメ**のつながり」
＝**五高の枠を超えたつながり**を築くきっかけとなるよう、趣向をこらしました。
同窓生同士の再会や新たな出会い、思い出話に花が咲くことでしょう。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



秋川 雅史さん
（テノール歌手）



秋川 風雅さん
(塾高74期/ピアニスト)

＼他にも各高のOBOGからも豪華ゲストを／
多数お招きしております。

入場券　一般　12,000円 (前売券)
15,000円 (当日券)
塾生　7,000円 (前売券)
10,000円 (当日券)

入場券購入は、同期の年度幹事又は同窓会役員より
お求めくださいます。直接ご購入の方は、下記口座に
お振込みください。**(締切：2024/10/15)**

振込先：**三菱UFJ銀行 綱島支店(640) 普通 1120753**
慶應義塾高等学校同窓会

※振込名義人の欄に「高校・期・組・お名前」を
ご記入ください（例： シキ　12A　ケイオウタロウ）

※当日受付にて、お振込み控えや画像など「お振込がわかるもの」をご提示ください。入場券とお引換いたします。

共催

慶應義塾高等学校同窓会　(会長 永野毅)
慶應義塾志木高等学校同窓会 慶應志木会 (会長 小坂孝樹)
慶應義塾女子高等学校同窓会 銀杏の会　(会長 松崎さつき)
慶應義塾ニューヨーク学院高等部同窓会 (会長 上野充貴)
慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部同窓会 (会長 野本周作)

大会実行委員長　西村拓生（塾高41期）　　**五高委員会委員長　加賀美公一（塾高20期）**

参加希望の方はこちらの
QRコードからエントリーフォームへ

お問合せ：慶應志木会事務局
Tel：048-471-1959(直) Fax：048-471-1974
Mail：info@keio-shikikai.jp

ホームカミングデー報告

ホームカミングデー報告 ―22期―

志木へ帰ろう



晴天に恵まれた10月28日、収穫祭の開催に合わせて26人の22期生が青春の学び舎に帰ってまいりました。卒業から半世紀以上を経て、古稀を迎える頃となっておりますが、そこには一瞬にして青春時代に回帰した仲間がおりました。

髙橋校長先生をはじめ教職員の方々、また大舘副会長をはじめとした志木会役員の方々には開催に向けたご尽力に改めて感謝申し上げます。お陰様で青春の日々を過ごした志木高で、楽しく懐かしい時間を過ごすことができました。

「志木へ帰ろう」、そんな気持ちが仲間の行動を突き動かしたのだと思います。時間も距離もすべて超越したのか、鹿児島から、神戸、岐阜から懐かしい顔が揃いました。収穫祭を見学して回る仲間あり、校内を散策して回る仲間あり、スキー部だったM君とN君は顧問であった後藤先生のお宅を訪ねるのだとか。ここはまさに22期生の故郷なのだと再確認させられました。

おみやげに頂いた「志木の柿」は帰宅後、高校時代の「秋の楽しみ」に思いを馳せながら美味しく頂戴させていただきました。今回の事業の運営にご尽力いただいた全ての方々に感謝するとともに、慶應義塾志木高等学校の益々の発展を祈りつつ、同期の仲間の健康と益々の精進を願っております。

22期　深澤 澄

ホームカミングデー報告 ―23期―

令和5年10月29日（日）の収穫祭開催日に卒業50年の23期がホームカミングデーに招待されました。校長先生はじめ教職員の皆様、志木会役員の皆様、開催に向けたご尽力に感謝申し上げます。

昨年は、11月18日（土）に5年に一度の「志木会大会」がありイベントが重なったので参加者がそちらに流れ、ホームカミングデーの参加者は29人と少なめでしたが、参加者は久々の母校や現役生徒たちの様子を愉しみ、懐かしさに浸っておりました。我々 23期はこの5年間志木会会長学年として、志木会や開設75年事業募金で活発に活動し、集まる機会も多かったのですが、母校での集まりはこの機会だけで特別なものでした。

他の学年も同じだと思いますが、志木高同期の繋がりは強く、一生続くものです。これからも母校の発展を祈念しつつ、同期との交際を愉しんでいきたいと思います。

23期　森田 榮一

ホームカミングデー報告 ―47期―



収穫祭初日のホームカミングデーにご招待いただき、同期17名が集まりました。47期は、中等部、普通部からの進学者の多く、8クラス、仲間の多い代です。卒業以来25年ぶりという人もいましたが、昔話に花が咲きました。志木会から開設75年の寄付の案内があり、その取りまとめ役に山田君が手を挙げてくれました。

一旦解散して収穫祭を見物しながら懐かしい校舎やグラウンドを歩いた後、焼き鳥屋に再集合して乾杯。ここから合流したメンバーも加わり、狭い座敷にぎゅうぎゅうになって再会を喜び合いました。

この会がきっかけとなって、11月の志木会大会をはじめ、同期の集まりが盛んになりました。素晴らしい機会を作ってくださった志木会の皆様、ありがとうございました。

47期　前北 馨

ホームカミングデー報告 ―48期―

2023年（令和5年）10月29日（収穫祭2日目）に、1998年（平成10年）3月志木高卒業の48期生がホームカミングデーに招待され、当日は48期生5人と家族1組が参加しました。48期生にとりまして、2023年は志木高卒業から25年の節目の年を迎えました。

通っていた当時にはなかった志木駅前のマルイファミリーや高層マンション、東横インの存在に驚きながら、当時と同じ小道を抜け、在校生や収穫祭の来場客でにぎわっている我々の母校こと志木高にたどり着きました。

本館や教室棟の建屋（外観）は、我々が通っていた25年前とは大きく変わってはおりません。建屋内部に着目しますと、教室棟2Fのロッカーが置いてあった場所が教室４部屋（K, E, I, O）に生まれ変わっておりました。

会の中では、在学当時に家庭科や社会科の授業で大変お世話になりました森岡主事より、志木高の近況や新建屋建設の進捗を伺いました。現在は、1年生は6クラス、2年生は8クラス、3年生は6クラス体制で運営されていること、又2年生を8クラスにする（1クラスあたりの人数を減らす）のは中だるみを防ぐためであることを拝聴しました。

数学科の百瀬（旧姓　城石）教諭や理科の三義元教諭も顔を出され、25年以上前の懐かしい話に花が咲きました。会そのものは1時間程度で終了となりましたが、高校生の頃を味わうことができたのが収穫です。お土産として、志木高で収穫された名物の柿をいただきました。志木高に植えられている柿の木を後で見ましたところ､沢山の柿の実がなっていました。

なお、出席した48期生間で話すなかで、今回招待にあたり同期に声掛けを試みるもコンタクトが難しくなっており、47期の先輩方を参考にフェイスブックグループを作成することにいたしました。この場をお借りして紹介させていただくとともに48期の交流の一助になれば幸甚です。

48期フェイスブックグループ：https://www.facebook.com/groups/245960905245179

（昨今のSNS上のプライバシーの扱いを鑑みてプライベートグループの設定にしております）

最後に、ホームカミングデー開催にあたってご尽力いただいた志木会や志木高の関係者の方々に御礼を申し上げます。

48期　　寺西 富広、黒川 真行

24期＆49期 ホームカミングデーのお知らせ

日時　令和6年10月26日（土）

場所　慶應志木高校　　**会費**　無料

＊開催時間、開催方法の詳細が決まりましたら、メールマガジン・ホームページなどでご案内させて頂きます。

収穫祭お知らせ

生徒会収穫祭実行委員会　委員長　関 大貴君

皆さんこんにちは。第 77 回収穫祭実行委員長の関大貴です。

志木高創立以来毎年続いてきた収穫祭も今年で記念すべき 77 回となりました。ダイバーシティ、多様性といった言葉が様々なところで話題になる昨今､本年度収穫祭のコンセプトは「Universe」です。「Universe」が持つ宇宙的な美しさと広義の意味での多様性。志木高生が自分たちでやりたいことを自分たちの手で作り上げる、なんとも志木高らしい収穫祭を開催できるよう収穫祭実行委員会一同全力を尽くして参ります。

また、皆様に多大なるご尽力を賜り、志木高創立 75 周年にあわせて光彩館が完成しました。光彩館での企画も考えており、この機会に皆様にお披露目できるよう準備を進めております。皆様が久しぶりに母校志木高に足を運んでくださると幸いです。

卒業40周年ご招待

32期　伊勢 学

3月24日。慶應義塾志木高等学校の卒業式は曜日にかかわらず決まっている。

40余年前、自分もその場にいた。新田校長からのお話は、現高橋校長のお言葉と同じく、巣立っていく卒業生の背中を未来に向かって押し出してくれる素晴らしいメッセージだった。

体育館は変わらない。壇上から福澤先生は立ち姿で志木高生を見守り続けている。

当時と違うのは卒業式に臨む参加者の数。およそ250名の卒業生よりもはるかに多くのご家族と、卒業40周年招待を受けた32期、33期の還暦を迎えた、あるいは迎えるかつての卒業生たち。

卒業式が始まる前、招待いただいた我々はなぜかソワソワしていた。本当に久しぶりに顔を合わせ、言葉を交わし、志木高で同じ時間を過ごしたその時代を思い出したからだけでなく、自分たちの卒業式のような嬉しさだったのかもしれない。

思い起こせば自分たちも、志木高を巣立つことの余韻に浸る間もなく未来に向けてギラギラした気持ちでいっぱいだった。そんな自分たち自身を目の当たりにするようで、懐かしいというだけでなく、志木高生の生意気なほどのエネルギー、未来への強い気持ちをシェアしてもらったようだ。同級生たちが本当にキラキラしている、と当時感じたことを思い出した。それは、自分たちだけで培ったものではなく、諸先生方、職員の皆さん、そして志木高生のご家族たちがわれわれを一人前の人間として認めてくれたからだったんだと。

卒業式に臨席させていただき、当時感じたことを思い出すとともに、再び未来に向けて背中を押してもらった気持ちになった。また、卒業式後の二次会での同期との交流で、かつての卒業生たちは還暦を迎えても変わらないなと気づいた。

40余年を経て、あらためて志木高の素晴らしさを再認識し、その素晴らしい志木高を巣立った自分を誇りに思える機会だった。ご招待いただき髙橋校長をはじめとする諸先生方、職員の皆さん、そして志木会役員の皆さんに深く感謝いたします。



卒業40周年ご招待

33期　青木 勝

卒業40周年。

33期は全国から、いや世界から再び母校に集った。

志木高の正門をくぐるとそこには懐かしい光景が広がっていた。様々な思い出がよみがえってくる。

33期は多彩なメンバーが活躍している。

駐米大使。慶應義塾大学や各大学の教授･教員。慶應病院や各大学病院の医師、開業医の理事長･院長。会社社長をはじめ企業・団体の要職を担って奔走するメンバー。世界各国に駐在をして活躍してきたメンバー。公認会計士や弁護士として頑張っているメンバーも多数いる。

また、何度も手術をして見事にガンを克服したメンバー。大動脈瘤破裂で死の淵に彷徨いながらも見事生還し、仕事に復帰したメンバー。週3回の透析を頑張り抜いて笑顔で式典に参加したメンバー。

そんなメンバー達が同窓会に集うと、一瞬にして志木高時代に戻って、ワイワイと楽しく元気になって帰っていく。

あるメンバーが語っていた。

「一番信頼できるのは志木高の同窓だ」と。

志木高の土地を慶應義塾に寄付した松永安左エ門は慶應義塾に入塾して間もない頃、創立者の福沢諭吉から教えられた。

「君、慶應義塾では目上の人に会ったとしても、そんなに丁寧に挨拶する必要はないんだ。軽く会釈する程度でいいんだ。」

志木高は私達を一人の大人として接してくれた。日常生活の中で平等を知り、大人としての襟度を身につけた。自分の頭で考え、自分の責任で行動することを学んだ。

社会でも個人でも様々な経験を重ねながら40年間頑張り続けてきた今、この志木高の得難き絆に思いをいたす時、「独立自尊」の精神を志木高が教えてくれたのだと心から感謝の念が込み上げてくる。

最後に、卒業40周年の記念招待にあたり、真心の準備・応対をしてくださった髙橋校長、森岡主事、中島事務長、そして芹澤さんをはじめとする職員・スタッフの皆様に心より御礼申し上げたい。



令和５年度　慶應志木会　収支報告書

［令和５年４月１日～令和６年３月31日］

単位：円

収入		支出	
適要	金額	摘要	金額
前期繰越金	28,237,983	会報費	3,122,350
		会議費	664,170
維持会費	0	交際費	88,170
新入会費	7,050,000	通信費	135,585
物販収入	2,388,660	事務費	21,463
雑収入	200,537	事業費	7,306,047
（含：通信費）	((441))	パソコン関連費	46,500
会議費	256,360	寄付金	16,000,000
事業費	1,467,000	（収穫祭・卒業式・国際交流支援）	
		卒業式	1,101,250
		（卒業生記念品・志木会賞）	
		75周年準備対策費	897,994
		雑費	11,505
		（支払手数料等）	
収入小計	11,362,557	支出小計	29,395,034
		次期繰越金	10,205,506
合計	39,600,540	合計	39,600,540

預金残高明細（令和６年３月末現在）

銀行	種別	摘要	管理	残高金額
ゆうちょ	総合	新入会費口	上西	7,017,008
ゆうちょ	振替	パーティ会費口	上西	0
三井住友	普通	小口～大口	天野	2,051,279
ゆうちょ	振替	維持会費口	芹澤	91,384
埼玉りそな	普通	小口	芹澤	1,045,835
合計				10,205,506

【監査報告】

慶應志木会会則第18条に基づき、令和５年度（令和５年４月１日～令和６年３月31日）の収支報告を監査した結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

令和６年５月１日

監　事　　原田　薫　　（押印略）

監　事　　増山　治一郎

慶應志木会役員・幹事・クラブ幹事（令和6年度）

■役員

名誉会長	髙橋	美樹（校長）	
会長	小坂	孝樹（30期）	
副会長	深川	和己（30期）	渉外担当
	宇野	宏（35期）	総務・情報管理・財務・企画・広報担当
幹事長	佐藤	正人（30期）	
副幹事長	髙﨑	洋一（30期）	
監事	上西	正之（23期）	
	森田	榮一（23期）	

■事務局

田内	久晴（37期）	事務局長
永井	利宗（27期）	企画・広報担当
原田	仁敦（30期）	財務担当
甲斐	正英（40期）	財務担当
青木	勝（33期）	総務担当
天野	徳雄（36期）	総務担当
田口	錬（43期）	総務担当
藪原	一暁（43期）	総務担当
中西	聡人（43期）	総務担当
大久保佐太郎	（55期）	広報担当

■顧問

龍野	和久（1期）	五老	輝彦（9期）	品川	雅貴（12期）
原田	薫（15期）	鹿野	元章（16期）	阪東	宗文（16期）
西村	孝一（17期）	増山	治一郎（17期）	金子	博志（20期）
松下	賢次（21期）	中村	弘司（23期）	坂上	隆彦（23期）

■幹事

期	卒業年	幹事						
1	S.26（1951）年卒	藤井　淳	松本　仙太郎					
2	S.27（1952）年卒	忽滑谷　岱司						
3	S.28（1953）年卒							
4	S.29（1954）年卒	高橋　公郎	伊藤　金次郎	三浦　靖夫				
5	S.30（1955）年卒	寺嶋　延行	関山　清	木下　聰				
6	S.31（1956）年卒	茂木　光義						
7	S.32（1957）年卒	熊崎　順次郎	鈴木　正治	渡辺　正				
8	S.33（1958）年卒	青木　宏至	品川　宗弘	大須賀　均	磯部　和宏			
9	S.34（1959）年卒	五老　輝彦	佐々木　弘暢	荒井　浩				
10	S.35（1960）年卒	馬場　紘二	斉藤　彰	吉川　忠裕				
11	S.36（1961）年卒	西　光由	渋谷　哲男	扇原　浩志	佐藤　直司			
12	S.37（1962）年卒	川久保　達也	岡田　幸次郎	並木　美和				
13	S.38（1963）年卒	清水　武寿	椎野　開八郎	飯島　智				
14	S.39（1964）年卒	築山　正俊	三関　峻	佐久間　義雄	藤田　正壽			
15	S.40（1965）年卒	小笠原　準一	倉田　伸二	深瀬　啓司				
16	S.41（1966）年卒	緒方　信次	恩田　博司	近藤　隆夫				
17	S.42（1967）年卒	荘　敬典	北村　基樹	前嶋　晶廣	野村　真	中村　康二	川鍋　二朗	
18	S.43（1968）年卒	伊藤　博行	黒田　豊	間宮　勝	三村　信二	青沼　広海	大場　紹吉	
19	S.44（1969）年卒	齋藤　治雄	中西　廣策	鈴木　基晴				
20	S.45（1970）年卒	杉　雅俊	金子　博志					
21	S.46（1971）年卒	飯島　敏一	福地　敏之	折登　泰樹	小林　哲男	森　光太郎	内山　洋一	
		長野　和郎						
22	S.47（1972）年卒	金子　康雄	櫻井　造雄	三木　哲郎	深澤　澄	江夏　雄二	増田　裕	
		城　克	深井　昭					
23	S.48（1973）年卒	夏目　雅	梅澤　由起	森田　榮一	三義　英一	太田　敏一	嶋田　廣雅	
24	S.49（1974）年卒	赤木　均	島影　幸有	田沼　潔	京本　修			
25	S.50（1975）年卒	小川　洋	髙橋　宣行	島田　徹				
26	S.51（1976）年卒	山田　純男	船山　剛	小池　雅澄	善木　達明	澤田　尚史	中川　龍士	
		渡辺　規人	荻原　弘幸					
27	S.52（1977）年卒	鬼頭　真一郎	金森　悟	髙橋　健三郎				
28	S.53（1978）年卒	伊能　重雄	池田　欽哉	南村　譲治				
29	S.54（1979）年卒	鳥羽　克治	清重　利昌	池上　忠嗣	相田　英文			
30	S.55（1980）年卒	岸田　一男	中西　太一	鈴木　克彦	岡　篤			
31	S.56（1981）年卒	荻田　健之	福島　聡	布施　浩行	梶原　靖友	内匠屋　健	小形　久士	
		吉村　康						
32	S.57（1982）年卒	町野　素久	横江　資友	梅田　幸彦	鈴木　厚	伊勢　学		
33	S.58（1983）年卒	瀬田　俊一	久保　修一	稲村　隆司				
34	S.59（1984）年卒	大内　正博	山下　孝	古長　玄一郎				
35	S.60（1985）年卒	須佐美　文忠	昌谷　健司	岩瀬　克也	永原　圭司	坂井　琢磨	萩原　太造	
		大澤　宏樹						

36	S.61（1986）年卒	阿部　元雅	澤田　克己				
37	S.62（1987）年卒	鍋島　康友	永田　博詳	植島　博之	原田　純一	木村　尚敬	
38	S.63（1988）年卒	知久　康成	中里　栄基	金子　隆則	荒瀬　光宏		
39	H. 1（1989）年卒	丸山　和紀	田中　浩樹	大西　重夫	鈴川　智徳		
40	H. 2（1990）年卒	井上　晴生	税所　篤史	森　直樹	鈴木　規央		
41	H. 3（1991）年卒	柏木　徹	三田　貴良	須田　光貴			
42	H. 4（1992）年卒	安　重煥	小島　圭	御山　義明	大澤　康算		
43	H. 5（1993）年卒	高松　智之	香野　日高	遠山　尚			
44	H. 6（1994）年卒	宮田　真詩					
45	H. 7（1995）年卒	若松　洋雄	小山　一	小川　圭	星川　太輔		
46	H. 8（1996）年卒	谷口　剛	川崎　聡				
47	H. 9（1997）年卒	小寺　俊且	谷　嘉康	森　茂之	西本　祥仁	濱岡　勇介	小林　圭
		前北　馨					
48	H.10（1998）年卒	亀山　雄高	黒川　真行	寺西　富広			
49	H.11（1999）年卒	石川　快	廣江　安彦				
50	H.12（2000）年卒	髙岡　功	徳田　征之	小林　敬英	齋藤　収		
51	H.13（2001）年卒	石井　強太	森川　渉	浅岡　良彦	治田　和明		
52	H.14（2002）年卒	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎				
53	H.15（2003）年卒	森岡　多門	林　憲				
54	H.16（2004）年卒	塚本　大夢	中川　雅之				
55	H.17（2005）年卒	池端　俊太	小泉　貴史				
56	H.18（2006）年卒	大久保　匠馬	若林　隆晃	横澤　慶太	原口　惇		
57	H.19（2007）年卒	和田　亮	時田　亜希夫				
58	H.20（2008）年卒	宮山　明	佐藤　友紀				
59	H.21（2009）年卒	箱﨑　勇人	本多　清礼				
60	H.22（2010）年卒	岡田　哲哉	中込　健太	工藤　雄太	松井　洋	古川　創一	
61	H.23（2011）年卒	井上　裕紀	富澤　直嗣	今野　秀一			
62	H.24（2012）年卒	荒木　謙人	岡本　尚之	加藤　将平	椎名　翔平	武藏　泰	
63	H.25（2013）年卒	星野　真瑠也	星野　宏太				
64	H.26（2014）年卒	市川　広大	巽　祐一	池上　太悟	亀倉　玲	森　大和	内村　朝樹
		新保　直毅					
65	H.27（2015）年卒	秋田　雅信	友野　雅樹				
66	H.28（2016）年卒	小林　翔	恩田　真希				
67	H.29（2017）年卒	菱刈　太一	本間　健太郎	大森　脩平	堀内　悠生	今野　裕三	
68	H.30（2018）年卒	松田　高幸	齋藤　正人				
69	H.31（2019）年卒	中山　元貴	堀永　尚				
70	R.2（2020）年卒	長合　哲弥	關山　輝流	今野　真孝			
71	R.3（2021）年卒	遠藤　界	脇田　克志	小溝　大	川津　智由	及川　太陽	細井　快
72	R.4（2022）年卒	千葉　達博	桑名　郁弥				
73	R.5（2023）年卒	内田　貴久	長山　聖				
74	R.6（2024）年卒	夏　天碩	後藤　大翔				

■クラブ幹事

枇杷の会	深瀬　啓司（15 期）	ホッケー部	菅野　芳哉（29 期）	サッカー部	中村　直人（38 期）
硬式庭球部	秋山　太郎（38 期）	弓術部	小宮　雄造（30 期）	スキー部	渡辺　一仁（51 期）
硬式野球部	山下　孝（34 期）	端艇部	水井　智基（36 期）	鉄道研究会	滝上　紘之（52 期）
應援指導部	渡辺　伸一（17 期）	軟式テニス部	枇々木　規雄（34 期）	ワグネル	南　琳太（61 期）
卓球部	浅生　潤（23 期）	バスケット部	木村　尚敬（37 期）	ワグネル	山浦　元気（61 期）
バレー部	進藤　英典（23 期）	バスケット部	平賀　敦巳（41 期）		

【幹事の訃報】

櫻井　英太郎君（1 期）　松本　福太朗君（6 期）　梅澤　勉君（6 期）　北原　光夫君（11 期）
原田　雄介君（12 期）　小林　好二君（14 期）　山﨑　嘉正君（26 期）

謹んでご冥福をお祈りいたします

編　輯　後　記

新しい形の大会を企画、実施する使命は中々痺れるものでした。しかも当日インフルでマスク二枚重ねでのディレクション。笑っちゃいます。これから新体制で 100 周年への礎を築いてください。応援してます。（27 期永井）

2023 年度はイベントが盛りだくさんでした。記念すべき 75 年事業に関われたこと嬉しく思います。新体制になった志木会の今後の変革も楽しみです。（事務局・芹澤）

慶應志木会会報　2024.vol.44

編輯・発行　慶應志木会
（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004
埼玉県志木市本町4-14-1
TEL：048-471-1959（志木高内）
発行人　小坂　孝樹
発行日　2024年6月30日
印刷　㈱アレックス
ウェブサイト　https://www.keio-shikikai.com/
電子メール　info@keio-shikikai.jp